

茨城県WWL NEWS LETTER

茨城県WWL事務局（県立勝田中等教育学校）

◎ WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業とは

文部科学省が推進する事業で、各都道府県の拠点校を中心に、国内外の学校や大学、企業などが連携して、高校生のグローバル人材育成に資する先進的なカリキュラムの研究や開発を行います。茨城県では茨城県立勝田中等教育学校が初の拠点校となり、県内の12の県立中高一貫教育校と連携して、「茨城県を未来型ダイバーシティ県にするための教育の推進」をテーマに令和6年度から3年間にわたって研究開発を行います。

茨城県WWL拠点校：勝田中等教育学校

茨城県WWL連携校：（以下「高校」省略）日立一・太田一・水戸一・鉾田一・鹿島・土浦一・竜ヶ崎一・下館一・下妻一・水海道一
（以下「教育学校」省略）並木中等・古河中等 以上12校

本紙では令和6年度のWWLの取り組みを報告します。

◎ ダイバーシティに関する研修 [令和6年10月13日(日)]

令和6年10月13日(日)に県教育委員会の主催でダイバーシティについて学ぶ研修がオンラインで開催されました。カナダの多文化共生の政策についてのレクチャーを聞いたり、日本在住の外国人の生活上の課題などについてディスカッションを行ったりしました。

生徒感想

● 異文化理解の重要性を学び、外国人と日本人が交流できる場を作ることによって、相互理解と共生社会の実現につながると感じました。

勝田中等

● 身の回りで起こっている課題を調べることは、外国から来た方々が住みやすい地域づくりに繋がると感じました。

勝田中等

● 異文化理解の重要性を学び、外国人と日本人が交流できる場を作ることによって相互理解と共生社会の実現につながると感じた。

勝田中等

● 外国人が日本にいて困っていることを聞き、その問題に対しての解決策を他校の生徒たちと一緒に考えることができた。

竜ヶ崎一

● 実際に外国人の立場になってみないとわからない悩みや自分になかった視点に気づけた。

水道海一

● 外国人の方々の方々の日常生活について直接話を聞いたことで、現状の課題をより明確にすることができた。

日立一



◎ 全国高校生フォーラム [令和6年12月15日(日)]

令和6年12月15日(日)、拠点校の中等4年次生4名が、東京都渋谷区の国立青少年オリンピックセンターで開催された「全国高校生フォーラム」に初参加しました。本フォーラムは、WWLコンソーシアム構築支援事業およびSGHネットワークの一環として開催され、日本全国および台湾から109校が参加。生徒たちは英語でのポスターセッションや質疑応答を堂々と行い、交流会では「Well-beingとは何か」をテーマに議論しました。全国の生徒と交流し、多くの刺激を受けた貴重な経験となりました。

生徒感想

ポスター発表の決戦は圧巻で、感銘を受け、来年こそあの舞台に立ちたいという大きな目標ができました。

勝田中等 雨谷 奈々

初めて会う生徒たちとwell-beingについてディスカッションをして課題と解決策を見出せました。

勝田中等 石川 華



◎茨城県WWL高校生フォーラム【令和6年12月19日(木)】

令和6年12月19日(木)に、県教育委員会の主催でひたちなか市文化会館にて「茨城県WWL高校生フォーラム」が開催されました。テーマは「多文化共生社会の実現のために私たちができること」で、拠点校生徒のグローバルゼミ生による発表やテーマに沿った英語でのディスカッションを行いました。



感想

勝田中等 西野 光

様々な国の方が茨城県高校生フォーラムに参加し多様な意見を述べており、自分のグローバル化に対する考えを深めることができるよい機会でした。

WWL連携校教員

茨城県の大きな一歩を見守り応援できて、とても楽しい時間でした。

勝田中等 上田 千代

パネルディスカッションでは、異国籍間でも英語をツールに理解し合い、多文化共生の観点で質問や対話を繰り返して考えを深める楽しさを学びました。

外国人登壇者

茨城県はダイバーシティのイベントのパイオニアだと私も思いました。毎年このイベントを続けてほしいです。

◎海外派遣について

WWLでは国際教育交流ネットワーク機構とアイエスエイと連携して留学プログラムを実施しています。拠点校では今年度アメリカに3名、カナダ4名、ニュージーランド1名の生徒を派遣しました。来年度はWWL連携校の生徒もこの留学プログラムに挑戦することが可能です。今回は拠点校で留学を経験した卒業生に、留学経験がその後の生活にどのような影響を与えたかを伺いました。

留学を経験した卒業生へインタビュー！



勝田高校 住谷 洸さん

(アメリカ留学経験者)

Q 大学生生活において本校在籍時の留学経験がどのように生きていますか？

留学経験は現在の学部で活かせるのはもちろん、英語の必修授業や他の授業でも役立ちます。クラス分けで上位のクラスに入れたり、より高度な授業を受けられるのも大きな利点です。また、どの学部でも英語に触れる機会が多いため、幅広く応用できると感じています。さらに、今後の留学では語学力向上にとどまらず、現地の大学の授業を受ける選択肢も広がり、学びの可能性が大きく広がると考えています。(立教大学)



勝田高校 飯村 美奈さん

(アメリカ留学経験者)

Q 大学生生活において本校在籍時の留学経験がどのように生きていますか？

英文学科では、ほとんどの授業がネイティブの先生による全て英語での講義です。専門的な分野を英語で学ぶことに初めは不安もありましたが、実際に授業を受ける中で、先生の話を理解し、自分から質問や発表をする際にも自信を持って英語を話せるようになりました。こうした経験を通じて、留学の成果が大学生活の中でしっかりと活かされていると実感しています。(日本女子大学)

◎海外大学進学制度

WWLではグローバルな進路を可能にするために、アイエスエイと連携した海外大学進学制度を推進しています。奨学金を保障する進学やコミュニティカレッジへの進学など自分に合った進学方法を相談することができます。毎年オンラインにて説明会を実施しています。

◎ 海外からの留学生受け入れ

拠点校では世界中からの留学生を常時受け入れており、今年度は3名の留学生を受け入れました。実際にそれぞれクラスへ配置され、日本人の生徒と共に授業を聴講し沢山の思い出をつくりました。



留学生へインタビュー!

本年度留学生ヤーラさんに、本校で学んだ事についてお聞きしました。

日本語も少しずつ上達しましたが、まだまだ学ぶことが多いと感じています。皆さんとの日々の会話を通じて少しずつ成長できたことが何よりの宝です。日本の文化や学校生活についてもたくさんのことを教えていただき、忘れられない思い出ができました。クラスマッチがすごく楽しく、友達には日本の生活や礼儀、そして勉強の姿勢について多くのことを学ばせてもらいました。



◎ 防災運動会 [令和6年12月8日(日)]

令和6年12月8日(日)、拠点校の体育館で「防災運動会」を開催しました。中等4年次生が企画・運営し、茨城大学との共催で実施した多文化共生の取組の一環です。茨城大学瀬尾匡輝先生のアドバイスを受け、外国人40名を含む約130名が参加しました。本企画は、災害に対する不安を抱える日本人・外国人が防災を学び、共に助け合うコミュニティを作ることを目的としています。参加者は、クイズや災害時の警報音を聞き分ける体験を通じて楽しみながら学びました。



生徒感想

勝田中等 堀口 さくら

大変なこともあったが、みんなで協力して楽しい運動会を作り上げることができ、とても貴重な経験になりました。

生徒感想

勝田中等 尾方 心

防災運動会のリーダーとして、チームをまとめる難しさや当日の仕切りの大変さを実感し、成長の機会となりました。

◎ オンライン海外交流



拠点校で中等4年次生が9月~11月に、英語の授業で、オーストラリアの高校生とオンラインで交流を行いました。英語と日本語を用いてコミュニケーションをすることでお互いを知り、またそれぞれの外国語学習に役立てることができました。またグローバルゼミにおいてもカンボジアやインドネシアなどアジアの国々との交流を計画しています。

生徒感想

勝田中等 齋藤 希桜

英語が苦手でしたが交流会前は会話が続くか不安でしたが、いざ始まると英語でも楽しく話すことができました!

2025年度のWWLイベントラインナップ

参加費
無料
(①は除く)

WWL拠点校・連携校だから参加できるイベントがたくさん。ぜひ参加してみよう！

1 海外大学体験研修 マレーシア・シンガポール

これからは国内大学だけでなく、海外大学も視野に入れる時代。まずは海外大学での実際の学びを体験してみよう！なかなか一人では行けない海外大学リアル体験ツアーです。

期日 令和7年8月3日～11日（9日間）

実施内容 ティラズ大学・サンウェイ大学・プトラ大学（マレーシアの人気大学）・シンガポール国立大学（世界ランキングトップ5）の講義体験など



費用 約50万円

参加方法 4月下旬まで参加者募集中（希望者は以下に問い合わせてください）

問い合わせ先 株式会社アイエスエイ 高崎支社
TEL:027-386-2125（月～金、9:30～17:30 祝祭日除く）
担当：登坂 貴 バレスター あゆみ



2 海外留学オンライン説明会

令和8年の夏からの留学を希望する生徒とその保護者向けにオンライン説明会を開催します。現中学3年生も参加できます。

開催日 令和7年6月頃に予定

参加方法 5月に各校に文書で周知予定



3 海外大学進学イベント ～柳井スカルズ・キャラバン～

柳井正財団の主催によるアメリカ、イギリスの大学で学ぶ日本人大学生たちを囲んでの座談会イベント。保護者と一緒に参加して、海外大学で学ぶことや受験対策などいろいろ質問してみよう。

開催日 令和7年6月28日（土）

会場 つくば会場 県立並木中等教育学校 9:00～12:00

県央会場 県立勝田中等教育学校 14:30～17:30

内容 前半パート 9:00～11:20/14:30～16:50 生徒向け座談会/保護者向け留学基礎講座

後半パート 11:20～12:00/16:50～17:30 個別相談会

参加方法 令和7年4月に各校に文書で周知予定

4 茨城県WWL高校生フォーラム

茨城県WWLの拠点校・連携校の生徒のためのグローバルな学びの祭典。ダイバーシティについて学んだり、県内の海外留学生とディスカッションしたり、多文化共生についての学びがギュッとつまった1日。ポスターセッションの参加校には全国高校生フォーラムへの切符が与えられます。全国のWWLメンバーとの交流を深めるチャンス！日頃の探究成果を披露して文部科学大臣賞をゲットしよう！

開催日 令和7年10月13日（祝） 9:30～16:00

場所 つくば国際会議場（日立・水戸・鹿島・古河地区からのバス送迎あり）

内容 第1部 ダイバーシティ研修 第2部 多文化共生についての講演
第3部 ポスターセッション・パネルディスカッション

参加方法 令和7年9月に各校に文書で周知予定



5 茨城大学の講義の先取り履修

茨城大学と県教育委員会は、茨城県WWL拠点校・連携校の生徒が茨城大学の「国際共修（海外大学の学生との協働実習）」を履修できる高大連携協定を締結しました。オンラインで受講でき、実際に茨城大学に入学した際には取得単位として認められます。開催期間や参加方法については、令和7年4月以降に文書で周知予定。

その他にもいろいろなイベントを計画中です。その都度事務局より各校にお知らせする予定です。詳しくは、下記までお問合せください。

茨城県WWL事務局 茨城県立勝田中等教育学校内

TEL 029-273-7411 担当：石井 なな（国際交流コーディネーター）